

くまもと 就農支援だより



NPO法人 熊本県就農支援機関協議会

はじめに

NPO法人熊本県就農支援機関協議会 理事長 木之内 均

令和2年度の幕開けは、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言があり、外出自粛並びに3密の回避など新しい生活様式の模索が始まりました。

当協議会活動も大きな影響を受け、理事会・総会の開催を取りやめ、书面決議での承認を受け、研修会の開催が難しい年度の幕開けとなりました。

新規就農者の育成は、日本農業の将来を左右する緊喫の重要課題であることは、地方自治体、農業団体とも共通なことと思います。その解決や対策に、「農業次世代人材投資事業」の準備型や経営開始型を新規就農者が有効に活用し、地域での就農定着に結び付けることが一層大切と考えます。その為にも、熊本県が認証した研修機関の活動充実強化が重要です。本年度には、農林水産省で「地域の新規就農サポート支援事業」が実施され、当協議会を含む全国8団体が承認を受け取組むことになりました。熊本県をはじめ農業団体、日本政策金融公庫、農林中央金庫などの関係機関と一層連携を深め、受入農家や研修機関指導者等の皆さんが、新規就農者の立場でのご指導・ご支援を進められますよう努めて、事業を実施して参りたいと思います。新型コロナウイルス感染拡大で厳しい情勢の中ではございますが、宜しくお願い致します。



理事会・総会を初めての书面決議で実施



令和2年度初の理事会は、5月28日付けで书面決議を実施しました。

新型コロナウイルスの感染事例が熊本県でも確認され、その拡大が懸念されることを踏まえ多人数での会議による3密を回避し、理事会と共に総会も初めて书面決議で実施しました。

役員改選では、理事は2人が再任、2人が退任、2人が新任。監事は2人が退任、2人が新任となった。退任の役員は、所属する団体での改正や人事異動によるものでした。



令和2年度

認定研修機関担当者研修会の開催

7月22日(水)午前10時～12時00分、熊本県立農業大学校研修交流館2階研修室で出席者29名(会員19名、関係機関等10名)が集まり、今年度の活動に係る計画の推進や課題等について研修会を行いました。

熊本県からは農地・担い手支援課の林田審議員らが出席し、挨拶を頂きました。木之内均理事長の講演と分科会による話し合いを行い、参加者一同、アンケートには、「他地域の活動事例の話などを聞いて、今後の活動に参考となった」と、100%良い評価でした。



開会式



研修風景



分科会風景

令和2年度 第1回受入農家研修会を開催

7月22日(水)午後1時から熊本県立農業大学校研修交流館2階研修室で行いました。参加者46名(受入農家30人、関係者16人)、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、熊本県立農業大学校研修交流館会議室利用時の感染対策チェックリストを遵守し、検温、消毒、ソーシャルディスタンス、マスク、換気、休憩等を取りながら開催しました。

まず、熊本県農地・担い手支援課の荒木主幹から「新規就農者育成の体制と流れ」について説明があり、続いて「新規就農者育成研修受入れの実際と課題」について、当協議会の木之内均理事長が基調講演を行いました。その後、「研修生に寄り添って育てるためには」をテーマに事例発表を山都地域担い手育成総合支援協議会や熊本県有機農業研究会の受入農家・原田氏、九州エコファーマーズセンターの室氏、坂本氏が行いました。研修後のアンケート結果では「大変良かった」、「良かった」が約80%と非常に高い評価でした。新型コロナ感染拡大期であったため、「お互いの意見交換が出来なかったのが残念であった」という声もあった。



熊本県農地担い手支援課
林田審議員



当NPO理事長 木之内



事例発表風景 原田 幸二 氏



坂本 清一 氏



室 治夫 氏



研修風景

第2回理事会の開催 | ～新規事業の実施に向けて～

9月4日(金)午後1時00分から理事、(公財)熊本県農業公社、熊本県農地・担い手支援課等、10人で開催しました。主な議題としては、国(農林水産省)が実施する新規事業「地域の新規就農サポート支援事業」の実施に向けた活動計画や予算の変更、並びに当事業に係る「研修向上専門委員会」の設置についての協議を行った。



令和2年9月4日(金) 第2回理事会



サポート支援事業「専門委員会」

地域の新規就農サポート支援事業の主な活動計画について

- 調査員の採用…1名
- サポートリーダー研修委嘱…3人
- 研修向上委員会の設置…委員11人
- サポートリーダー研修会…3人×3回
- 受入農家での体験調査活動…13カ所延べ日数53日
- サポートリーダー連携会議…2回
- ホームページの作成
- 印刷物の発行

地域の新規就農サポート支援事業「研修向上専門委員会」の開催

9月4日(金)午後3時15分から第1回の新規就農サポート支援事業「研修向上専門委員会」を行いました。委員長は木之内理事長、委員長代行に吉村事務局長を選出し、委員には認定研修機関のメンバー3人、受入農家6人、協議会事務局から3人の10人でスタートして、事業計画の詳細やスケジュールについて意見交換を行い、協議会でサポート事業の調査員として新規採用した竹原さん紹介をした。

第2回「研修向上専門委員会」を10月2日(金)午後1時から宇城市松橋町「華月園」会議室で開催しました。会議では、受入農家のステップアップを図るため、課題等を探る体験調査研修を10の認定研修機関で行うため、日程を組み依頼することを決定した。課題としては、新規就農者への経営移譲と就農後の支援策等、新規就農者のネットワークづくりや受入農家のネットワークづくり等の意見が出された。



第2回「研修向上専門委員会」



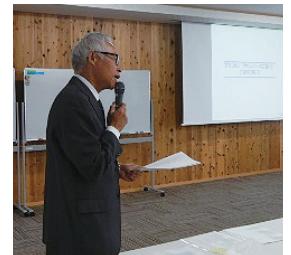
新規就農サポーター 竹原 美智子氏

あなたの農業への適性を探る

「農業人材適正・資質向上(PLI)研修」と「農業気象」研修の講師として活動

JA中央会・連合会が主催する新規就農支援セミナーの内の2回、9月29日(火曜日・火の国ハイツ)と11月24日(火曜日・熊本県立農業大学校研修交流館)に、講師として木之内理事長、吉村事務局長、平岡スペシャリストが出席して指導に当たりました。

研修生約30名参加のもと開催されました。



JA中央会・連合会
農政・営農支援センター江藤氏



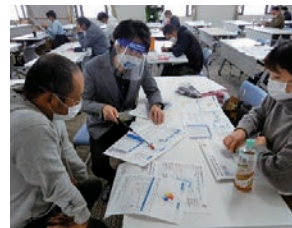
当NPO木之内講義風景



PLI研修風景



当NPO 平岡PLI指導風景



PLI個別指導風景



PLI個別指導風景

これからの活動について

- (1) 令和2年度熊本農業の継承支援事業
「新規就農スタートアップ支援力強化事業」
- (2) 理事会
- (3) 地域の新規就農サポート支援事業
「研修向上委員会」

お知らせ

新型コロナウイルス感染防止期間の協議会活動について

歴史上稀な新型コロナウイルス感染は、日常生活に大きな影響を及ぼしています。緊急事態宣言の解除後も感染の第2波、第3波と大きな社会不安となっています。当協議会も、就農相談や研修機関支援活動、理事会の書面決議等、「三つの密」を避け、活動・行動に注意しテレワーク・オンライン会議の活用も行いながら、事業活動を継続します。

くまモンと
一緒に新しい
生活スタイルを!!



©2010 熊本県 くまモン



手を洗うモン
#WashHands



くっつかないモン
#KeepDistance



換気をするモン
#OpenWindow

■お問い合わせ先……………



NPO法人 熊本県就農支援機関協議会 (担当) 吉村 孫徳、平岡 浩晃

〒861-1113 熊本県合志市栄3802-4(農業公園内) TEL:096-273-6015 FAX:096-273-6016

E-mail:k-shunoushien-k@ninus.ocn.ne.jp